

令和3年2月5日

報道機関 各位

QRコードとARを融合した新しいナビシステム

『Quest touR(クエストツアー)』実証実験開始！

初めて訪問した複合オフィスビルなどの建物内で、目的の場所がなかなか見つからず、戸惑った経験はありませんか？ 既存の地図アプリでは、建物の入り口まではナビゲートしてくれますが、建物内では地図アプリが利用できないため、最終目的地までナビゲートすることができないという問題がありました。

そこで、この問題を解決するため、国立大学法人 長崎大学情報データ科学部の小林透研究室は、株式会社デンソーウェーブとの共同研究により、QRコード（※）とARを融合し、利用者の好みの移動方法に合わせて建物内をナビゲーションするシステム「Quest touR」を開発し、長崎大学文教キャンパスにおいて実証実験を開始しました。

（※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。）

については、「Quest touR」のデモンストレーションを下記の通り行います。デモンストレーションでは、工学部一号館一階のピロティ（建物入口付近）から、4Fの小林透の居室まで、実際にナビしてみます。

記

1. 開催日時：令和3年2月10日（水）10:00～11:00
2. 開催場所：長崎大学文教キャンパス 工学部一号館1F 12番講義室
3. 説明内容：
 - ・概要説明 説明者：中澤瑛介氏、鈴木智仁氏（株式会社デンソーウェーブ）、小林透教授（情報データ科学部）
 - ・デモンストレーション 説明者：鬼丸禎史（小林透研究室修士2年）
 - ・質疑応答（上記説明者）

【開発の経緯】

QRとARを融合した建物内ナビゲーションのアイデアは、小林透研究室の学生が、2019年度の創成プロジェクトの一環で、株式会社デンソーウェーブによる技術サポートのもと創出したものです。（注：創成プロジェクト…長崎大学工学部・工学研究科が進めるPBL（Project Based Learning）型授業）

本アイデアを具現化すべく、2020年度に長崎大学情報データ科学部の小林透研究室と株式会社デンソーウェーブは、共同研究を開始しました。具現化に当たっての課題は主に2つで、利用者の好みの移動方法（階段を使って少しでも運動したい人や車いすで移動したい人など）に合わせて最適な経路を計算すること（課題①）、建物内の位置を精度よく推定すること（課題②）です。